NewsRelease NewsRelease NewsRelease

ルネサス、2018 年度 通期の業績を発表

～2017 年度の在庫積み上がりの反動および需要軟化の影響により、2018 年度の通期の売上は対前年同期比減収。2019 年度は IDT 統合によるシナジーの早期創出と継続的な市況の軟化に備えた徹底的なコストおよびキャッシュの管理を推進する～

2019 年 2 月 8 日
ルネサス エレクトロニクス株式会社

・2018 年度第 4 四半期：Non-GAAP ベース(1)の半導体売上高は 1,838 億円となり、前年同期比 11.0%減収、Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 40.9%となり、前年同期比 7.0 ポイント減少、Non-GAAP ベースの営業利益（率）は 212 億円（11.3%）となり、前年同期比で 129 億円（4.9 ポイント）減益。

・2018 年度通期：Non-GAAP ベースの半導体売上高は 7,405 億円となり、前年同期比 3.3%減収、Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 44.7%となり、前年同期比 2.1 ポイント減少、Non-GAAP ベースの営業利益（率）は 1,106 億円（14.6%）となり、前年同期比で 175 億円（1.8 ポイント）減益。

・2019 年度第 1 四半期の見通し(IFRS 基準)：Non-GAAP ベースの半導体売上高は 1,460 億円～1,540 億円を見込み、Non-GAAP ベースの売上高総利益率は中間値として 39%を見込む。

ルネサス エレクトロニクス株式会社（以下、ルネサス）は本日、2018 年度第 4 四半期（2018 年 10 月 1 日～12 月 31 日）および 2018 年度通期（2018 年 1 月 1 日～12 月 31 日）の業績を発表しました。ルネサスの代表取締役社長兼 CEO の呉 文精は、次のように述べています。

「通期の半導体売上（Non-GAAP ベース、以下同じ）は、前年同期比 3.3%減収、売上高総利益率は同 2.1 ポイントの減少となりました。第 4 四半期の半導体売上は、前年同期比 11.0%減収、売上高総利益率は同 7.0 ポイントの減少となりました。これらは市況の軟化影響および適正な在庫水準を目指した生産数量の抑制を進めたことによるものです。

続く 2019 年度第 1 四半期は引き続き市況の軟化を見込み、半導体売上高は前年同期比で減収、売上高総利益率につきましても、前年同期比での低下を見込みます。短期的な売上の不確実性に鑑み、徹底的なキャッシュ管理や業務効率化と R&D の選択と集中によるコスト削減を推し進めます。また、中期的な目標に向けた成長戦略につきましては、IDT 買収完了後に中期計画を更新・公表する予定です。」

四半期業績概要（億円）

Non-GAAP ベース	2018年度 第4四半期 (2018年10-12月)	2018年度 第3四半期 (2018年7-9月)	2017年度 第4四半期 (2017年10-12月)	前 四半期比	前年 同期比
売上高	1,877	1,802	2,102	4.2%	-10.7%
半導体売上	1,838	1,756	2,064	4.7%	-11.0%
売上高総利益率	40.9%	44.4%	47.9%	-3.5pts	-7.0pts
営業利益	212	241	341	-30	-129

営業利益率	11.3%	13.4%	16.2%	-2.1pts	-4.9pts
EBITDA[(2)]	439	468	545	-29	-106

GAAP (日本会計基準)	2018年度 第4四半期 (2018年10-12月)	2018年度 第3四半期 (2018年7-9月)	2017年度 第4四半期 (2017年10-12月)	前 四半期比	前年 同期比
売上高	1,877	1,802	2,102	4.2%	-10.7%
半導体売上	1,838	1,756	2,064	4.7%	-11.0%
売上高総利益率	40.7%	44.1%	47.7%	-3.5pts	-7.0pts
営業利益	101	131	219	-30	-117
営業利益率	5.4%	7.3%	10.4%	-1.9pts	-5.0pts
EBITDA	424	450	526	-27	-102

通期業績概要(億円)

Non-GAAP ベース	2018年度 通期 (2018年1-12月)	2017年度 通期 (2017年1-12月)	前年 同期比
売上高	7,574	7,815	-3.1%
半導体売上	7,405	7,656	-3.3%
売上高総利益率	44.7%	46.7%	-2.1pts
営業利益	1,106	1,281	-175
営業利益率	14.6%	16.4%	-1.8pts
EBITDA[(2)]	2,006	2,028	-22

GAAP (日本会計基準)	2018年度 通期 (2018年1-12月)	2017年度 通期 (2017年1-12月)	前年 同期比
売上高	7,574	7,803	-2.9%
半導体売上	7,405	7,644	-3.1%
売上高総利益率	44.4%	45.2%	-0.8pt
営業利益	668	784	-116
営業利益率	8.8%	10.0%	-1.2pts
EBITDA	1,945	1,871	+74

(1) Non-GAAP ベース:非経常項目やその他特定の調整項目を控除もしくは調整した業績。企業買収に伴い、認識したのれんや無形固定資産の償却額およびその他の PPA(取得原価の配分)影響額、企業買収関連費用、株式報酬費用や当社グループが控除すべきと判断する一過性の利益や損失などを控除もしくは調整。また、IFRS 移行後は、上記の定義より、のれんの償却額を除外しております。Non-GAAP ベースと日本会計基準(GAAP)間の調整項目は 7 ページ参照。

(2) EBITDA: 営業利益+減価償却費+長期前払費用償却額。日本会計基準ベースでは、のれん償却額も含む。

分野別四半期・通期半導体売上(億円)[(3)]

2017 年 2 月に買収完了したインターシル社を統合し、3 事業本部体制に再編したことに伴い、ルネサスは、2017 年度第 2 四半期から半導体売上の開示情報について、当社グループの主要な事業内容である「自動車」、「産業」、「ブロードベースド」およびこれらに属さない「その他半導体」に変更しました。

Non-GAAP ベース	2018年度 第4四半期 (2018年10-12月)	2018年度 第3四半期 (2018年7-9月)	2017年度 第4四半期 (2017年10-12月)	前 四半期比	前年 同期比
自動車(4)	1,045	958	1,091	9.1%	-4.2%
産業(5)	431	418	542	3.1%	-20.5%
ブロードベースド(6)	351	373	409	-6.0%	-14.2%
その他半導体	10	7	22	52.6%	-52.7%
合計	1,838	1,756	2,064	4.7%	-11.0%

Non-GAAP ベース	2018年度 通期 (2018年1-12月)	2017年度 通期 (2017年1-12月)	前年 同期比
自動車(4)	3,985	4,126	-3.4%
産業(5)	1,872	1,964	-4.7%
ブロードベースド(6)	1,513	1,517	-0.2%
その他半導体	34	50	-31.3%
合計	7,405	7,656	-3.3%

(3) 分野別半導体売上:2018 年度に「自動車」「産業」「ブロードベースド」の区分について、「産業」の売上の一部を「ブロードベースド」に移管するなど、より事業内容に即した形に変更しました。これに伴い、2017 年 12 月期の数値についても、2018 年 12 月の新区分の基づく数値に遡及修正しています。

(4) 自動車:「車載制御」および「車載情報」向けにマイクロコントローラ、SoC(system-on-a-chip)、アナログ半導体、パワー半導体を中心に提供。

(5) 産業:「スマートファクトリー」、「スマートホーム」および「スマートインフラ」向けにマイクロコントローラおよび SoC を中心に提供。

(6) ブロードベースド:幅広い用途向けに汎用マイクロコントローラおよび汎用アナログ半導体を中心に提供。

2018 年度 第 4 四半期の業績概要(Non-GAAP ベース)

2018 年度第 4 四半期の連結売上高は 1,877 億円、前四半期比 4.2%増収となり、前年同期比は 10.7%減収となりました。半導体売上高は、1,838 億円となり、前四半期比では 4.7%増収となり、前年同期比では 11.0%減収となりました。自動車向け売上は、主に流通在庫増減により、前四半期比では 9.1%増収、前年同期比で 4.2%減収となりました。産業向け売上は、前四半期比では 3.1%増収となり、前年同期比では 20.5%減収となりました。ブロードベースド向け売上は、前四半期比では 6.0%減収となり、前年同期比では 14.2%減収となりました。産業向けおよびブロードベースド向け売上の前年同期比減収は、中国の景気減速を背景とする FA(ファクトリーオートメーション)や家電および幅広い用途向けのブロードベースド市場での需要減がその主要因です。

第 4 四半期の Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 40.9%となり、当社予想比では、主に売上増、

費用抑制により、0.9 ポイント上回りました。前四半期比では、主に在庫水準の適正化のための生産数量の減少により 3.5 ポイント減となり、前年同期比では 7.0 ポイント減となりました。

第 4 四半期の Non-GAAP ベースの研究開発費（R&D）は、前四半期の 304 億円および前年同期の 343 億円に対し、301 億円となりました。売上高 R&D 比率は 16.0%となりました。

第 4 四半期の Non-GAAP ベースの販売費および一般管理費（SG&A）は、前四半期の 255 億円および前年同期の 324 億円に対し、256 億円となりました。売上高 SG&A 比率は 13.6%となりました。

OPEX（R&D や SG&A などの事業運営に必要な費用）は、成長に向けて R&D を投じる一方で規律ある SG&A のコントロールを強化することで、引き続き、長期財務目標である売上高 R&D 比率と売上高 SG&A 比率の合計を 30%を目途に抑制を図ってまいります。

第 4 四半期の Non-GAAP ベースの営業利益は 212 億円、営業利益率は 11.3%になり、前四半期の Non-GAAP ベースの営業利益 241 億円から 30 億円減益となり、営業利益率は、SG&A の抑制を図るものの生産数量の抑制により 13.4%から 2.1 ポイント減少しました。前年同期比では、主に売上減や生産数量の抑制により、129 億円(4.9 ポイント)減少しました。

第 4 四半期の Non-GAAP ベースの親会社株主に帰属する四半期純利益は、174 億円となりました。
なお、第 4 四半期の Non-GAAP ベースの一株当たりの純利益は 10.4 円となりました。

棚卸資産は第 4 四半期末で 1,180 億円となり、前四半期 の 1,415 億円から 235 億円減少しました。

第 4 四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、600 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは 132 億円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは 468 億円となりました。

第 4 四半期の有形固定資産（生産設備）および無形固定資産の設備投資額は、44 億円となりました。これは、これら資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません。

自己資本比率は、2018 年 9 月 30 日時点の 53.7%に対し、2018 年 12 月 31 日時点では 54.1%となりました。D/E レシオ（グロス）は、2018 年 12 月 31 日時点で 0.37 倍となりました。

2018 年度 通期の業績概要（Non-GAAP ベース）

2018 年度通期の連結売上高は 7,574 億円、前年同期比は 3.1%減収となりました。うち半導体売上高は、7,405 億円となり、前年同期比で 3.3%の減収となりました。自動車向け売上は、欧州排ガス規制での生産減や中国販売減により下期に減速したものの海外顧客向けが好調でした。一方で、前年にあった日系顧客向けの流通在庫積み増しの反動により、前年同期比で 3.4%減収となりました。主に中国の景気減速を背景とする FA（ファクトリーオートメーション）や家電および幅広い用途向けのブロードベースド市場での需要減により、産業向け売上は、前年同期比で 4.7%減収、ブロードベースド向け売上は前年同期比で 0.2%減収となりました。

2018 年度通期の Non-GAAP ベースの売上高総利益率は 44.7%となり、前年同期比では主に減収や生産数量の抑制により 2.1 ポイント減となりました。

2018 年度通期の Non-GAAP ベースの研究開発費(R&D)は、前年同期の 1,258 億円に対し、1,229 億円となりました。売上高 R&D 比率は 16.2%となりました。

2018 年度通期の Non-GAAP ベースの販売費および一般管理費(SG&A)は、前年同期の 1,115 億円に対し、1,050 億円となりました。売上高 SG&A 比率は 13.9%となりました。

OPEX(R&D や SG&A などの事業運営に必要な費用)は、成長に向けて R&D に投じる一方で規律ある SG&A のコントロールを継続しています。

2018 年度通期の Non-GAAP ベースの営業利益(率)は 1,106 億円(14.6%)になり、前年同期の Non-GAAP ベースの営業利益(率)1,281 億円(16.4%)から 175 億円(1.8 ポイント)減少しました。規律ある OPEX 運営を継続したものの、売上総利益率の低下などにより減益となりました。

2018 年度通期の Non-GAAP ベースの親会社株主に帰属する純利益は、923 億円となりました。
なお、2018 年度通期の Non-GAAP ベースの一株当たりの純利益は 55.4 円となりました。

2018 年度通期の営業活動によるキャッシュ・フローは、1,642 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは 613 億円の支出となり、その結果、フリー・キャッシュ・フローは 1,028 億円となりました。

2018 年度通期の有形固定資産(生産設備)および無形固定資産の設備投資額は、176 億円となりました。これは、これら資産への投資決定ベースの金額であり、キャッシュ・フロー計算書に記載の現金支出とは一致しません。

2019 年度 第 1 四半期の見通し

2018 年 12 月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用することを決定しております。さらに、2019 年 12 月期第 1 四半期の業績予想については、業績予想の開示方法をレンジ形式に変更することに加え、当社グループの恒常的な経営成績の理解を促進する有用な情報を提供するために、財務会計上の数値(GAAP)から企業買収などに関係した非経常項目やその他一過性の利益や損失を特定の調整項目として控除もしくは調整した「Non-GAAP ベース」にて売上高・半導体売上高・売上高総利益率・売上高営業利益率を開示することといたしました。このため、日本基準を適用していた 2018 年 12 月期第1四半期並びに第 4 四半期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

Non-GAAP ベースの半導体売上高については、2019 年度第 1 四半期は、1,460 億円～1,540 億円を見込みます。

Non-GAAP ベースの売上高総利益率、売上高営業利益率については、中間値のみの開示とし、それぞれ 39%、4.5%を見込みます。

為替前提については、第 1 四半期は、1 米ドル 109 円、1 ユーロ 124 円としています。

なお、日本会計基準での前四半期比・前年同期比につきましては、当社ウェブサイトに掲載のプレゼンテーション資料の P19 をご参照ください。

以上

(ご参考)

連結貸借対照表、連結損益計算書、連結キャッシュ・フロー計算書については、本日発表の「2018 年 12 月期 第 4 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

Japan-GAAP(日本会計基準)と Non-GAAP 間の調整項目については別紙をご参照ください。

(将来予測に関する注意)

本資料に記載されているルネサス エレクトロニクスグループの計画、戦略および業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づきルネサス エレクトロニクスグループが判断しており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、実際の業績等は、様々な要因により、これら見通し等とは大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、(1)ルネサス エレクトロニクスグループの事業領域を取り巻く日本、北米、アジア、欧州等の経済情勢、(2)市場におけるルネサス エレクトロニクスのグループ製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてルネサス エレクトロニクスグループが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを供給し続けていくことができる能力、(4)為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等がありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷等により、実際の業績等が当初の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

ルネサス エレクトロニクス

Japan GAAP（日本会計基準）とNon-GAAP間の調整項目

(億円)	2018年 第4四半期実績 (2018年10-12月)	2018年 第3四半期実績 (2018年7-9月)	2017年 第4四半期実績 (2017年10-12月)
売上高（PPA 調整後）	1,877	1,802	2,102
PPA 影響	-	-	+0
Non-GAAP 売上高	1,877	1,802	2,102
GAAP 売上高総利益	763	795	1,002
GAAP 売上高総利益率 (%)	40.7%	44.1%	47.7%
PPA 影響(COGS)	+3	+3	+4
株式報酬費用 (COGS)	+2	+2	+2
Non-GAAP 売上高総利益	768	800	1,008
Non-GAAP 売上高総利益率 (%)	40.9%	44.4%	47.9%
GAAP 営業利益	101	131	219
PPA 影響(売上高・COGS)	+3	+3	+4
PPA 影響(R&D, SG&A) 固定資産償却の増加等	+1	+1	+2
株式報酬費用 (COGS)	+2	+2	+2
のれんの償却額 (SG&A)	+53	+52	+53
インターシル社買収関連費用 (SG&A)	+2	+2	+2
インターシル社買収関連費用 (R&D)	+1	+1	+1
買収した無形資産の償却額 (SG&A)	+39	+38	+45
株式報酬費用 (R&D)	+5	+4	+5
株式報酬費用(SG&A)	+5	+5	+9
株式売出し関連費用、その他 (SG&A)	+1	+4	-
Non-GAAP 営業利益	212	241	341
Non-GAAP 営業利益率 (%)	11.3%	13.4%	16.2%

GAAP 親会社株主に帰属する四半期純利益	-24	76	186
営業利益段階までの調整項目	+111	+111	+122
経常損益の調整項目(PPA 影響)	-	-	+1
純利益調整項目(PPA 影響)	-	-	-5
純利益調整項目(インターシル社買収関連影響)	-	-	-
純利益調整項目(その他非経常項目)	+87	-	-
Non-GAAP 親会社株主に帰属する四半期純利益	174	186	303

ルネサス エレクトロニクス
Japan GAAP(日本会計基準)とNon-GAAP間の調整項目

(億円)	2018年 通期実績 (2018年1-12月)	2017年 通期実績 (2017年1-12月)
売上高(PPA 調整後)	7,574	7,803
PPA 影響	-	+12
Non-GAAP 売上高	7,574	7,815
GAAP 売上高総利益	3,366	3,528
GAAP 売上高総利益率 (%)	44.4%	45.2%
PPA 影響(COGS)	+13	+124
株式報酬費用 (COGS)	+6	+2
Non-GAAP 売上高総利益	3,385	3,653
Non-GAAP 売上高総利益率 (%)	44.7%	46.7%
GAAP 営業利益	668	784
PPA 影響(売上高・COGS)	+13	+124
PPA 影響(R&D, SG&A) 固定資産償却の増加等	+3	+7
株式報酬費用 (COGS)	+6	+2
のれんの償却額 (SG&A)	+207	+174
インターシル社買収関連費用 (SG&A)	+8	+15
インターシル社買収関連費用 (R&D)	+2	+1
買収した無形資産の償却額 (SG&A)	+155	+147
株式報酬費用 (R&D)	+17	+11

株式報酬費用(SG&A)	+22	+15
株式売出し関連費用 (SG&A)	+6	+2
Non-GAAP 営業利益	1,106	1,281
Non-GAAP 営業利益率 (%)	14.6%	16.4%

GAAP 親会社株主に帰属する純利益	546	772
営業利益段階までの調整項目	+438	+497
経常損益の調整項目(PPA 影響)	-	+1
純利益調整項目(PPA 影響)	-	-30
純利益調整項目(その他非経常項目)	-61	-
Non-GAAP 親会社株主に帰属する純利益	923	1,239